



安全データシート

Copyright, 2022, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	23-7148-2	版	7.02
発行日	2022/02/27	前発行日	2018/04/04

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

スコッチ・ブライト™ A-M (メタコンディスク、TS METACON、仕上げベルト、Nベルト、メタコンシート、メタコンロール)

3M スtockナンバー

61-5001-2106-8 61-5001-6037-1 61-5001-6043-9

7000000716		7000121 034							
------------	--	----------------	--	--	--	--	--	--	--

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	研磨材技術部
電話番号	042-779-7995

2. 危険有害性の要約

GHS分類

有害区分に該当しない。

GHSラベル要素

注意喚起語
適用しない。

シンボル

適用しない。

ピクトグラム

適用しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	1344-28-1	30 - 40
硬化樹脂	混合物	20 - 40
ナイロン繊維	混合物	10 - 25
ナイロンスクリム	混合物	5.0 - 15
ファイバー	1317-65-3	3.0 - 8.0
アタッチメントボタン	混合物	0 - 5.0
水素化重質パラフィン系蒸留物 (石油)	64742-54-7	< 2.0
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	0.5 - 2.0
二酸化チタン	13463-67-7	< 2.0
結晶性シリカ	14808-60-7	< 1.0
フタル酸のジC 9～1 1分枝鎖 (主にC 1 0) 分枝アルキルエステル	68515-49-1	<= 0.1

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

石鹸と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

応急処置は不要。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物**物質**

一酸化炭素

二酸化炭素

条件

燃焼中

燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**

他のセクションの使用上の注意を見る。

環境に対する注意事項

適用しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

適用しない。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。 切削、研磨、加工により発生するダストの吸入を避ける。 損傷した製品は使用中に砕け散り、顔や眼に重傷をもたらすことがある。使用前に亀裂や欠け跡があるかを確認する。損傷がある場合は取り替える。研磨作業を行う場合又は作業付近にいる場合は、眼及び顔面保護具を常に着用する。 本製品の使用により可燃性粉塵が生じることがある。 本製品から発生する粉塵は、粉塵の濃度、点火源などの存在により爆発を引き起こすことがある。製品表面に粉塵が溜まったまま放置しないようにする。

保管

特別な貯蔵条件はない。

8. ばく露防止及び保護措置**管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
フィルター	1317-65-3	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして) (8時間) :8 mg/m ³ ; TWA (吸入性粉じんとして) (8時間) :2 mg/m ³	

酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	1344-28-1	JSOH OELs	TWA (総粉じんとして) (8時間): 2 mg/m ³ ; TWA (吸入性粉じんとして) (8時間): 0.5 mg/m ³	
不溶性アルミニウム、化合物	1344-28-1	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 1mg/m ³	A4: ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
二酸化チタン	13463-67-7	ACGIH	TWA : 10 mg/m ³	A4: ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
二酸化チタン	13463-67-7	JSOH OELs	TWA (総粉じんとして) (8時間): 4 mg/m ³ ; TWA (吸入性粉じんとして) (8時間): 1 mg/m ³ ; TWA (8時間): 0.3mg/m ³	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
結晶性シリカ	14808-60-7	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 0.025 mg/m ³	A2: ヒトに対して発がん性が疑われる
結晶性シリカ (吸入性粉塵)	14808-60-7	JSOH OELs	CEIL (吸入性粉塵として) : 0.03mg/m ³	1: ヒトに対して発がん性がある。
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 1mg/m ³	A4: ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	JSOH OELs	限界値は未設定	皮膚感作性のおそれ。

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA: 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値

CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策

研磨・研削・切削加工のために適切な局所排気装置を準備・提供する。空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。警告: 有害物が発生するおそれがある。局所排気を利用する。粉塵発生源付近での暴露抑制及び作業区域への粉塵の流入防止のために製造現場に局所排気を準備・提供する。排気ダクト、集塵機、処理装置など、作業環境へのダスト流入防止システムがあることを確認する。

保護具

眼の保護具

顔と眼の損傷リスクを最小にするために、研磨作業を行う場合又は作業付近にいる場合は、眼及び顔面保護具を常に着用する。ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。

サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

粉塵に接触又は研磨材に接触して起こる皮膚の損傷リスクを最小にするために適切な手袋を着用する。

呼吸用保護具

加工する全材料のばく露濃度を評価すること。呼吸保護具を選択する場合は、研磨される材料を考慮すること。過度の吸入ばく露を避けるため、適切な保護マスクを選択して使用すること。ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
微粒子用半面形あるいは全面形防じんマスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
色	赤色
臭い	微ポリマー臭。
臭いの閾値	適用しない。
pH	適用しない。
融点・凝固点	適用しない。
沸点、初留点及び沸騰範囲	適用しない。
引火点	適用しない。
蒸発速度	適用しない。
引火性（固体、ガス）	区分に該当しない。
燃焼点（下限）	適用しない。
燃焼点（上限）	適用しない。
蒸気圧	適用しない。
蒸気密度/相対蒸気密度	適用しない。
比重	適用しない。
溶解度	適用しない。
溶解度（水以外）	適用しない。
n-オクタノール/水分分配係数	適用しない。
発火点	適用しない。
分解温度	適用しない。
粘度/動粘度	適用しない。
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。
モル重量	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質 条件

知見はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

機械的な眼刺激： 疼痛、発赤、流涙、角膜創傷などの症状。 研磨粒子による粉塵は眼を刺激する。症状は充血、腫れ、痛み、涙、かすみ目など。

皮膚に付着した場合

機械的な皮膚刺激： 創傷、発赤、疼痛、かゆみなどの症状。

吸入した場合

研磨粒子による粉じんは呼吸器を刺激する。症状は咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、かすれ声、鼻・喉の痛みなど。

飲み込んだ場合

人体への健康影響に関する情報は無い。

追加情報

本製品を使用方法的に従って通常の条件で使用する場合には、有害な健康影響は発生しないと考えられる。しかしながら、使用方法に従わないで使用又は加工した場合には、製品の性能に影響を及ぼしたり、健康影響や危険性

が発生する可能性がある。このSDSは3M製品のみを対象とします。危険有害性の程度を決める場合、完全な評価をするためには、研磨される材料についても考慮する必要があります。本製品は、二酸化チタンと結晶性シリカを含みます。動物実験で高いレベルの二酸化チタンの吸入は、肺がんに関連付けられています。また、結晶性シリカの職業的ばく露は、けい肺と肺がんに関連付けられています。通常のハンドリングでは、二酸化チタンと結晶性シリカへのばく露は予想されません。空気サンプリングのシュミレーションでは、二酸化チタンと結晶性シリカは、検出されませんでした。それゆえ、二酸化チタンと結晶性シリカに関連する健康影響は、通常の条件化では予想されません。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－粉塵/ミスト(4時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。12.5 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	吸入－粉塵/ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 2.3 mg/l
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
フィルター	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
フィルター	吸入－粉塵/ミスト (4時間)	ラット	LC50 3 mg/l
フィルター	経口摂取	ラット	LD50 6,450 mg/kg
ポリ塩化ビニル	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ポリ塩化ビニル	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
水素化重質パラフィン系蒸留物 (石油)	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
水素化重質パラフィン系蒸留物 (石油)	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
二酸化チタン	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
二酸化チタン	吸入－粉塵/ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
二酸化チタン	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
結晶性シリカ	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
結晶性シリカ	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,160 mg/kg
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	吸入－粉塵/ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 12.5 mg/l
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	経口摂取	ラット	LD50 > 9,700 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
----	-----	---------

酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	ウサギ	刺激性なし
フィラー	ウサギ	刺激性なし
ポリ塩化ビニル	専門家による判断	刺激性なし
水素化重質パラフィン系蒸留物 (石油)	ウサギ	わずかな刺激
二酸化チタン	ウサギ	刺激性なし
結晶性シリカ	専門家による判断	刺激性なし
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	ウサギ	わずかな刺激

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	ウサギ	刺激性なし
フィラー	ウサギ	刺激性なし
水素化重質パラフィン系蒸留物 (石油)	ウサギ	軽度の刺激
二酸化チタン	ウサギ	刺激性なし
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	ウサギ	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
水素化重質パラフィン系蒸留物 (石油)	モルモット	区分に該当しない。
二酸化チタン	ヒト及び動物	区分に該当しない。
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	モルモット	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	In vitro	変異原性なし
ポリ塩化ビニル	In vitro	変異原性なし
水素化重質パラフィン系蒸留物 (石油)	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
二酸化チタン	In vitro	変異原性なし
二酸化チタン	In vivo	変異原性なし
結晶性シリカ	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
結晶性シリカ	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	In vitro	変異原性なし
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	In vivo	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	吸入した場合	ラット	発がん性なし
ポリ塩化ビニル	特段の	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

	規定はない。		
水素化重質パラフィン系蒸留物 (石油)	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
二酸化チタン	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
二酸化チタン	吸入した場合	ラット	発がん性
結晶性シリカ	吸入した場合	ヒト及び動物	発がん性

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
フィルター	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 625 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
ポリ塩化ビニル	特段の規定はない。	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 非該当	妊娠期間中
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 927 mg/kg/day	2世代
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 929 mg/kg/day	2世代
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 38 mg/kg/day	2世代

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
フィルター	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.812 mg/l	90分
水素化重質パラフィン系蒸留物 (石油)	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
水素化重質パラフィン系蒸留物 (石油)	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	吸入した場合	塵肺症	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
フィルター	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
ポリ塩化ビニル	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.013 mg/l	22月
水素化重質パラフィン系蒸留物 (石油)	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.21 mg/l	28日
二酸化チタン	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2年
二酸化チタン	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
結晶性シリカ	吸入した場合	珪肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

フタル酸のジC 9～1 1分枝鎖（主にC 1 0）分枝アルキルエス テル	吸入した 場合	呼吸器系 造血 器系 肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.5 mg/l	2 週
フタル酸のジC 9～1 1分枝鎖（主にC 1 0）分枝アルキルエス テル	吸入した 場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.5 mg/l	2 世代
フタル酸のジC 9～1 1分枝鎖（主にC 1 0）分枝アルキルエス テル	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 686 mg/kg/day	90 日
フタル酸のジC 9～1 1分枝鎖（主にC 1 0）分枝アルキルエス テル	経口摂取	肝臓 腎臓およ び膀胱 心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	90 日
フタル酸のジC 9～1 1分枝鎖（主にC 1 0）分枝アルキルエス テル	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 320 mg/kg/day	90 日

誤えん有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション 2 の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンド ポイント	試験結果
酸化アルミニウム鉱物（非 繊維状）	1344-28-1		実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム鉱物（非 繊維状）	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム鉱物（非 繊維状）	1344-28-1	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム鉱物（非 繊維状）	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	>100 mg/l

繊維状)						
ファイラー	1317-65-3	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>100 mg/l
ファイラー	1317-65-3	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	>100 mg/l
ファイラー	1317-65-3	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	>100 mg/l
ファイラー	1317-65-3	緑藻類	推定値	72 時間	EC10	>100 mg/l
水素化重質パラフィン系蒸留物 (石油)	64742-54-7	緑藻類	推定値	72 時間	EL50	>100 mg/l
水素化重質パラフィン系蒸留物 (石油)	64742-54-7	ミジンコ	推定値	48 時間	EL50	>100 mg/l
水素化重質パラフィン系蒸留物 (石油)	64742-54-7	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	96 時間	LL50	>100 mg/l
水素化重質パラフィン系蒸留物 (石油)	64742-54-7	緑藻類	推定値	72 時間	NOEL	100 mg/l
水素化重質パラフィン系蒸留物 (石油)	64742-54-7	ミジンコ	推定値	21 日	NOEL	100 mg/l
ポリ塩化ビニル	9002-86-2		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
二酸化チタン	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	440 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	7,600 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	5,000 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	60 mg/l
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	68515-49-1	液状化	実験	30 分	EC50	>83.3 mg/l
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	68515-49-1	緑藻類	実験	96 時間	EC50	>100 mg/l
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	68515-49-1	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	68515-49-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	68515-49-1	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	100 mg/l
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	68515-49-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニウム鉱物 (繊維状)	1344-28-1	データ不足			N/A	
ファイラー	1317-65-3	データ不足			N/A	
水素化重質パラフィン系蒸留物 (石油)	64742-54-7	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	31 重量%	OECD 301F
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	データ不足			N/A	

二酸化チタン	13463-67-7	データ不足			N/A	
結晶性シリカ	14808-60-7	データ不足			N/A	
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	68515-49-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	74 % BOD/ThBOD	OECD 301F

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	1344-28-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ファイバー	1317-65-3	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
水素化重質パラフィン系蒸留物 (石油)	64742-54-7	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	7.5	推定値：生態濃縮係数
ポリ塩化ビニル	9002-86-2	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
二酸化チタン	13463-67-7	実験 BCF-鯉	42 日	生物濃縮係数	9.6	非標準的な手法
結晶性シリカ	14808-60-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
フタル酸のジC9～11分枝鎖 (主にC10) 分枝アルキルエステル	68515-49-1	推定値 BCF-鯉	56 日	生物濃縮係数	<14.4	OECD 305E- 生態濃縮 魚類

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。(国際連合危険物に該当しない) 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質 (表示物質)

主な法規制物質

成分	法規名		
	安衛法 (表示・通知)	化管法	毒劇法
水素化重質パラフィン系蒸留物 (石油)	168 (鉱油)	該当なし	該当なし
酸化チタン	191 (酸化チタン(IV))	該当なし	該当なし
結晶性シリカ	165-2 (結晶質シリカ)	該当なし	該当なし
酸化アルミニウム鉱物 (非繊維状)	189 (酸化アルミニウム)	該当なし	該当なし

16. その他の情報

改訂情報

- セクション 1：担当部門の電話番号 情報修正.
- セクション 1：SAP Material Number 情報の追加.
- セクション 2：GHS分類 情報修正.
- セクション 2：注意喚起語 情報の削除.
- セクション 2：シンボル 情報の削除.
- セクション 3：成分表 情報修正.
- セクション 3：「この製品は混合物です。」の標準フレーズ 情報の追加.
- セクション 4：毒性学的影響情報 情報の削除.
- セクション 5：火災時情報 (消火法) 情報修正.
- セクション 5：火災時情報 (消火剤) 情報修正.
- セクション 7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
- セクション 8：職業暴露情報 情報修正.
- セクション 8：作業環境許容値 情報修正.
- セクション 8：保護具 - 吸入 情報修正.
- セクション 8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
- セクション 9：色 情報の追加.
- セクション 9：燃焼性 (固体、ガス)情報 情報修正.
- セクション 9：ナノパーティクル 情報の追加.
- セクション 9：臭い、色、グレード情報 情報の削除.
- セクション 9：揮発分 情報の追加.
- セクション 9：追加性状に関する記載 情報の追加.
- セクション 9：追加性状に関する記載 情報の削除.
- セクション 9：蒸気密度/相対蒸気密度 情報の追加.
- セクション 9：蒸気密度の値 情報の削除.
- セクション 9：粘度 情報の削除.
- セクション 9：粘度 情報の追加.
- セクション 9：水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報の追加.
- セクション 9：揮発性有機化合物 情報の追加.
- セクション 11：急性毒性の表 情報修正.
- セクション 11：発がん性の表 情報修正.

セクション 1.1 : 生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション 1.1 : 生殖毒性の表 情報修正.
セクション 1.1 : 重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション 1.1 : 皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション 1.1 : 皮膚感作性の表 情報修正.
セクション 1.1 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション 1.1 : 標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション 1.2 : 成分生態毒性情報 情報修正.
セクション 1.2 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション 1.2 : 生態濃縮性情報 情報修正.
セクション 1.4 : 輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
セクション 1.5 : 法規名 - 表 情報修正.
セクション 1.5 : 適用法規のステートメント 情報修正.
セクション 1.6 : UK放棄声明 情報の削除.

免責事項：この安全データシートへの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートに記載の事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートに記載の内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3M ジャパングループの SDS は日本のウェブサイトから入手できます。